

◎ 大学関係

1. 総長選挙

既にご案内のように、総長選考が進行中です。選考過程・日程につき、大学ホームページより要約します。。

・現五神真総長が令和3年3月31日付けで任期満了となることに伴い、本日(4月28日)、東京大学総長選考会議内規(以下「内規」という。)第5条に基づき総長選考の開始を公示しました。

【日程(暫定)】

7月 7日(火)	第1次総長候補者の推薦(代議員会)
7月22日(水)	第1次総長候補者の推薦(経営協議会)
9月 7日(月)	第2次総長候補者の選定(総長選考会議)
9月 30日(水)	第2次総長候補者への意向投票
10月 2日(金)	総長予定者の決定(総長選考会議)

2. 東大の大学債は最高位の格付けを取得

既に東大が大学債の発行を行う計画であることは、五神総長の学士会講演等で触れられ、その後は新聞等で報道されているが、愈々具体化される。五神総長の大きなレガシーとなる。

・東大は日本格付研究所(JCR)から最上級の「トリプルA」、格付投資情報センター(R&I)から「ダブルAプラス」の、それぞれ発行体としての格付けを取得している。

・大学債の主幹事証券会社は、大和証券(事務主幹事)、みずほ証券(共同主幹事)、SMBC日興証券(共同主幹事)、事務委託銀行として三井住友銀行を選択した。

・これまでは、国立大学法人は、直接収入を見込める付属病院などの事業しか債券発行はできなかったが、本年6月に発行条件を緩和する閣議決定がなされ、先端研究施設などのような直接収入を見込めない事業目的でも発行可能となった。この改正に基づく大学債の第1号となる。

・日経は、「国立大では2004年の法人化以降、運営交付金や補助金の減少が続いている。大学債による調達で基礎研究の施設整備や、校舎改修といった投資もより柔軟にできるようになる。海外でも積極的に活用されており、英ケンブリッジ大は18年に約800億円の60年債を発行。英オックスフォード大も17年に100年債を約1000億円発行している。国内の他の国立大にも広がりそうだ」と期待を示している。

詳しくは2020/6/10 2:00日本経済新聞 電子版 五神真学長に聞く を参照。

3. 大学のコロナ感染防止対策 健康管理報告

大学は活動制限をレベル0.5に緩和しましたが、逆に学内の健康管理は厳しくなっております。下記、大学ホームページより転載します。

【学内者】

・新型コロナウイルス感染症 健康管理報告サイト(Health Management Report Form)

本学は、新型コロナウイルスとの共存期(ウィズコロナ)の状態においても教育研究活動を継続することが重要であると判断し、感染防止対策を強化した上で本学の活動制限をレベル0.5に緩和しました。

新型コロナウイルス感染症は無症状や軽症の感染者が多数いるとみられることから、感染者発生時の速やかな対応がとれるようにするため、全学として構成員の皆様には体温・体調の報告を求めるといたしましたので、ご協力をお願いいたします。

・構成員は、検温結果及び息苦しさ・咳・だるさなどの風邪の症状や最近の味覚・嗅覚の異常の有無を、下記の報告用フォームに入力してください。発熱や健康管理に関する諸症状が確認された場合は、キャンパスへの入構を控え経過観察を行う等の必要な措置をお願いします。なお、報告フォームに入力された情報は、保健センターに直接送信され、各種法令等に則り、保健センターが厳格に管理します。また、保健センターの医師・保健師が全学としての感染リスクの分析と危機管理のために利用します。

<学内者の入構>

健康管理報告が必要。

健康管理報告フォーム別ウィンドウで開くで報告を行い、入構時に「入構可」の返信メッセージを提示して入構。

やむを得ず健康管理報告ができなかった場合は、入構時に入構門で手続きを行う。

<学外者の入構>

原則、入構不可。特別な所用のある場合は、用務先に確認の上、「入構届(学外者用)(Wordファイル:18KB)」

を守衛に提示して入構。

4. 五月祭は9月に！

第93回五月祭は9月20日(日)、21日(火)に、且つ、オンラインで開催されることになりました。ライブ発信やビデオ通話サービスを使い、講演会、演奏会、パフォーマンス、ワークショップなど企画されている。

5. 第19回ホームカミングデイ

(1) 連合会の企画

- ・ 連合会企画は、前半は同窓会に関心のある若手卒業生に東大の全学同窓会の歴史と現状についての話、後半は地域同窓会の皆様から頂いた写真・ビデオなどのスライドショー、合計30分ほど動画を準備中です。神奈川銀杏会三土会で落語を口演した参遊亭遊助さん(本名豆生田信一・81経)の協力で、固い前半で皆さんが退場しないように柔らかくするため、鋭意努力中です。
- ・ 神奈川銀杏会企画は遊助さんの落語、横浜道物語と神奈川銀杏会物語です(神奈川銀杏会三土会報告参照)。

(2) 第19回特別フォーラムのテーマ・登壇者が決定

- テーマ:『新型コロナウイルスと人類 ～想定外にいかに向き合うか』
- 日時:2020年10月17日(土) 10:40~12:30
- ライブ配信/要参加申込(どなたでもご参加いただけます)
- 講演者

① 河岡 義裕氏

東京大学医科学研究所感染症国際研究センター長

1978年北海道大学獣医学部卒業、80年同大学修士課程修了、83年獣医学博士取得。St. Jude Children's Research Hospital, Tennessee にて教授研究員、ウイスコンシン大学獣医学部教授の後、東京大学医科学研究所細菌感染研究部教授、感染・免疫部門ウイルス感染研究分野教授を経て現職。

② 小野塚 知二氏

東京大学経済学研究科教授、東京大学アジア研究図書館長

1981年東京大学経済学部卒業、87年同大学院経済学研究科第II種博士課程単位取得退学。東京大学社会科学研究所助手、横浜市立大学商学部助教授を経て現職。専門は近現代西洋社会経済史、イギリス労務管理史・労使関係史、第一次世界大戦史、兵器産業史など。

③ 玄田 有史氏

東京大学社会科学研究所教授

1988年東京大学経済学部卒業、92年同大学院経済学研究科第II種博士課程退学。学習院大学経済学部教授を経て現職。専門は労働経済学。著書に「希望学」(共著)、「希望のつくり方」(共著)、「危機対応の社会科学」(共著)、「地域の危機・釜石の対応」(共著)ほか。

6. 東京六大学野球春季戦

8月10日から17日まで、総当たり一回のみで行われた、東大は前季覇者の慶大と5対4の接戦、法政とは6対3と惜しかったが、その他校には惨敗で、最下位は変わらず。

7. 学士会は午餐会・夕食会を復活

8月より学士会の定例の午餐会・夕食会が復活しました。食事も8月後半より再開です。

但し、全ての席は正面に向かい(以前は向かい合って座っていましたので、参加人数はしぼられます)、各人の間隔も少し広めですが、更に間に透明のパーテーションを置いています。但し、ビール・ワインのアルコールは無しというのは、大阪料理長が久々に腕を振るった料理だけに残念です。ご参考にテーブルのレイアウトの写真をつけます(パーテーションは見難いと思いますが、脚が3つあり、しっかりして値段もそこそこ、メーカーは日本ラバロック株式会社です、ご関心あればお問い合わせください)。



◎ 連合会関係

1. 連合会総会(9月23日予定):

下記要旨のご案内を昨日お送りしております。

1. 本年5月26日開催予定であった同窓会連合会第24期定例総会は、新型コロナウイルス禍にて、東京銀杏会の総会と合わせ、9月23日に延期した。
- ・ 但し、6月17日に幹事会を書面にて開催、第1号から第7号までの総会議案につき、ご審議頂き、ました。
- ・ 審議結果につきましては、ご案内の通り、回答締切の7月3日11時まで、45の正会員の内、全会一致でご承

認頂いた。尚、同日開催の校友会役員会でも連合会との大同団結議案は承認されました。

2. 9月23日の総会開催につきましては、現時点においても、新型コロナ禍は終息せず、国内移動も制限される状況で、リスク無くするためには、書面審議のみかオンラインだが、校友会との大同団結を決議する記念総会でぜひ出席したいとの声もあること、また、東京銀杏会は、万全の感染防止策を講じながらも、ほぼ通常通り開催することから、連合会は、下記要領にて総会を開催する。

(1) 議案と議決方法について

- ① 議案は、既にご承認頂いた幹事会での総会議案と同じ内容とする。その後、開催見込みの行事が中止になるなど状況の変化があり、先行きはきわめて楽観できないが、2カ月前の議案、特に事業計画・予算収支を大幅に修正する確固たる根拠がないと考える。万が一、重要な議案修正事項が出た場合は、追って適正にご協議頂く。
- ② 議決方法は、書面。就きましては、先の幹事会審議と重複するが、総会議決として、回答書での賛否ご確認をお願いする。回答期限 9月14日(金)

(2) リアル総会も開催する。

書面で議決であれば、コロナ禍継続の中、総会は開く必要はないとの考えもあるが、先に申し述べた理由から、万全の感染防止策を講じた上で、ご出席ご希望の方のみで、形式的だが、下記要領で幹事会・総会を開催、議決の確認、その他議事を審議する。

・ 日時：2020年9月23日(水)

16:30～17:30 幹事会(総会議案他審議)

17:30～18:00 総会

・ 場所：第一ホテル東京 4階「カトレア」

・ 参加人数：密を避けるため原則10名までといたします(代表幹事・事務局長含む)。

(3) 尚、ご予定が許せば、東京銀杏会総会・懇親会にもご出席をお願いする。

コロナ感染対策については、東京銀杏会が万全を期すと理解しておりますが、連合会としてはご無理をお願いしない。いご出席ご希望の方にはホテルが準備する具体的な対策につきご報告する。また、体調不良による当日のキャンセルの無料とする。

・ 東京銀杏会 総会

日時:2020年9月23日(水)

18:30～19:00 総会

19:00～20:30 懇親会 春風亭昇吉出演

・ 場所 5階 ラ・ローズ I・II

・ 会費 8000円(東京銀杏会会員扱い)

(2) コロナ禍長期化での同窓会活動の促進～オンラインの活用

- ・ 新型コロナウイルスとの闘いは活動しながら戦い続ける長期戦です。同窓会の基本活動は対面の集まり・交流・親睦と正に三密環境の活動ですので、無策のまま自粛を続けず、万全の感染防止対策を講じながら、できるだけ同窓会活動を継続する工夫が重要と考えます。既にご報告したように、神奈川銀杏会や鎌倉淡青会などは、講演会や(神奈川三土会、鎌倉三金会)、趣味の会(神奈川気功の会等)に加え、幹事会などのオンライン化も常態化しており、「以前より参加者が増えた」、「遠隔地の参加者も出た」など、新たな活性化の種になりつつあります。
- ・ 特に、神奈川銀杏会のオンラインを活かす活性化は勢いを感じます。豊吉会長のコメントを引用すると、「ピンチをチャンス」にすべく、皆様が頑張っていることは心強いことです。

(4) 10月16日全国大会までにはZOOM装備で全国から出席:

コロナと共存する世界では、オンラインは日常になります。同窓会の基本インフラとして、会員メールアドレスの普及率目標を90%以上にとお願いしていましたが、もう一つの目標は、全地域同窓会事務局・幹事がZOOMに習熟し、例えば、10月16日の全国大会には全ての地域同窓会がオンラインで参加できる環境を準備することです。よろしくお願ひします。

巻末に神奈川銀杏会提供のZOOM簡易マニュアルを添付しております。ご活用ください。

◎ 校友会関連

(1) 校友会との大同団結:

連合会幹事会にご検討頂いております総会議案第7号～校友会との大同団結の第1段階として、2020年10月1日付にて、① 連合会名称を「東京大学地域同窓会連合会」に変更、② 校友会が新設する「地域同窓会本部」を連合会事務局が兼務します。

地域同窓会本部の目的は、「国内の地域単位の同窓会活動を支援する」ことで、具体的内容は、校友会・大学関係部門と協議して「具体化するが、事務局としては、下記を重点に地域同窓会発展を図りたいと考えております。

① 広報手段の強化:

TFT、校友会ニュース、更には地域連合会ニュースの学内配布拡大を通じての広報を強化する。

② 年次による同窓会推進:

東大には組織的な年次同窓会は未だ無い。地域同窓会本部として、学部・院同窓会、運動部・サークル団体、五月祭・駒場祭委員会と協議して、その学年の年次ネットワークの育成・発展を図る。出来れば、直近の2021年卒の核となる幹事の幹事群指名まで進める。

③ 在京県人会拡大構想:

コロナという異常事態では地方出身学生のストレスは大きい。鳥取、徳島、山口の各県出身学生・教職員による新入生歓迎会、就活支援などの活動を行う県人会的組織を他の県にも拡大する呼びかけを行う。地域の絆による暖かい交流・親睦のネットワークは、ストレスの多い地方出身学生(特に女子学生)のセイフティネットとして、大学の重要なインフラとなる。

④ 地域支部構想:

日本国内・海外における東大同窓会の発展は、大学自体の発展に繋がる。日本全国で自主的に立ち上がり、東大の旗を掲げ、地域における東大卒業生の交流・親睦、そして支援に努めて来た地域同窓会は、東京大学の地域連携拠点の役割をも果たす可能性を持つ。大学とのより緊密な連携を推進したい。

◎ 別件 モーリシャスの重油事故 民間の対応

事務局の独りごとですが、モーリシャスの重油事故で、日本政府は民間のことで、外務省・環境省は数名の専門チームを送るなど極めて控えめで、報道も足元のコロナ・政局であまり関心がありません。法律的に義務はないと割り切っているかもしれませんが、心の問題です。恵まれた自然環境を持つ小さな国に大国の日本の船会社が迷惑をかけたのだから、なにかできる範囲で手を差し伸べませんか？ どなたか小さくとも東大卒業生又は同窓会としてモーリシャス政府への募金を始めると口火になるとと思いますが、いかがですか。(文責:長寄)

モーリシャス共和国大使館は在豪州大使館が兼任、在東京モーリシャス共和国名誉領事館は三菱食品にあるようです。

Honorary Consulate of the Republic of Mauritius in Tokyo

〒143-6556 東京都大田区平和島6丁目1番1号 三菱食品株式会社内

電話:03-3767-1130

名誉領事:森山 透 氏 Mr. MORIYAMA Toru

管轄区域:日本全土